

## デザインコンセプト

クリーンセンターのデザインに  
もとめること

クリーンセンターをもっと知ってほしい

クリーンセンターが市民に親しまれてほしい

クリーンセンターが景観になじんでほしい

デザインコンセプト

外から見た人にも  
「この地域に住みたい」  
と言ってもらえるデザイン

3つのデザイン方針

**1** すべての面が  
“オモテ”になるデザイン

= “ウラ”のないデザイン

**2** やわらかく  
“やさしい”デザイン

= “カタさ”のないデザイン

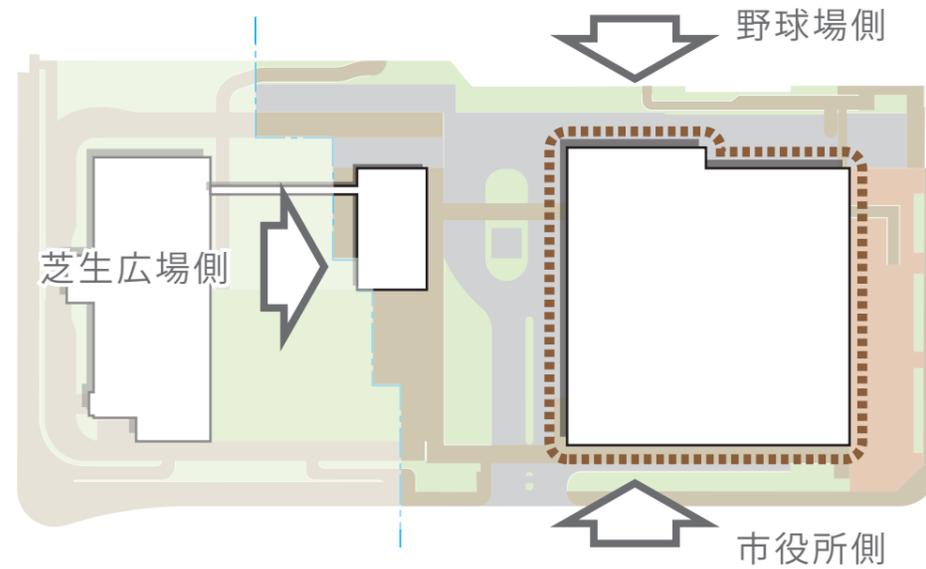
**3** いつでも  
“人の姿を感じる”デザイン

= “身近に感じる”デザイン

### 3つのデザイン方針

1 すべての面が  
“オモテ”になるデザイン

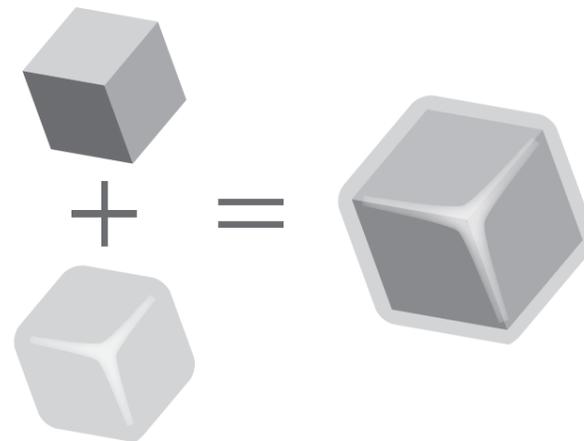
face  
front



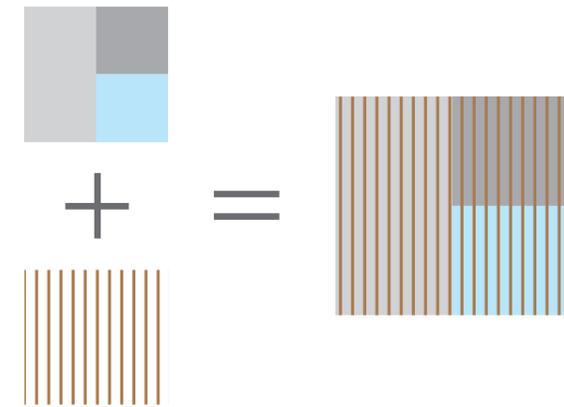
4面をおなじ“約束事”のもとに  
デザインする →方針2、方針3

2 やわらかく  
“やさしい”デザイン

friendly  
soft



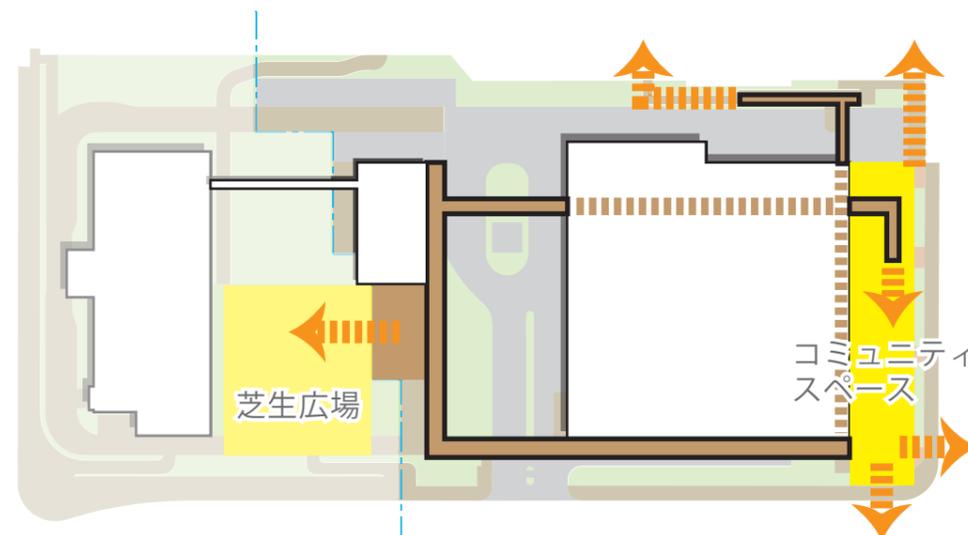
カドをまるめる“ベール”



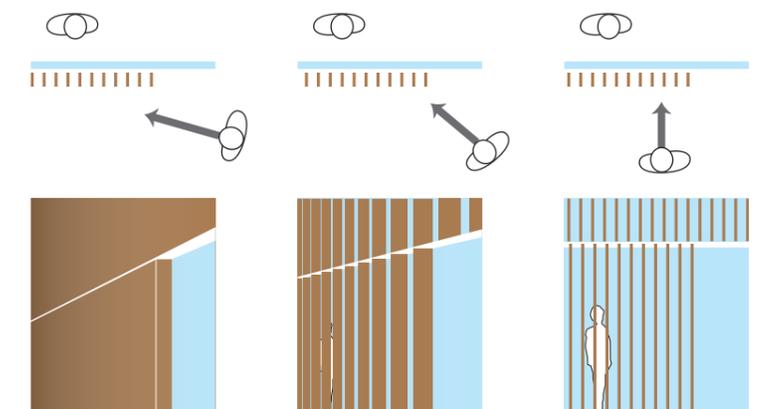
表情をやさしくそろえる“テラコッタルーバー”

3 いつでも  
“人の姿を感じる”デザイン

lively  
safe

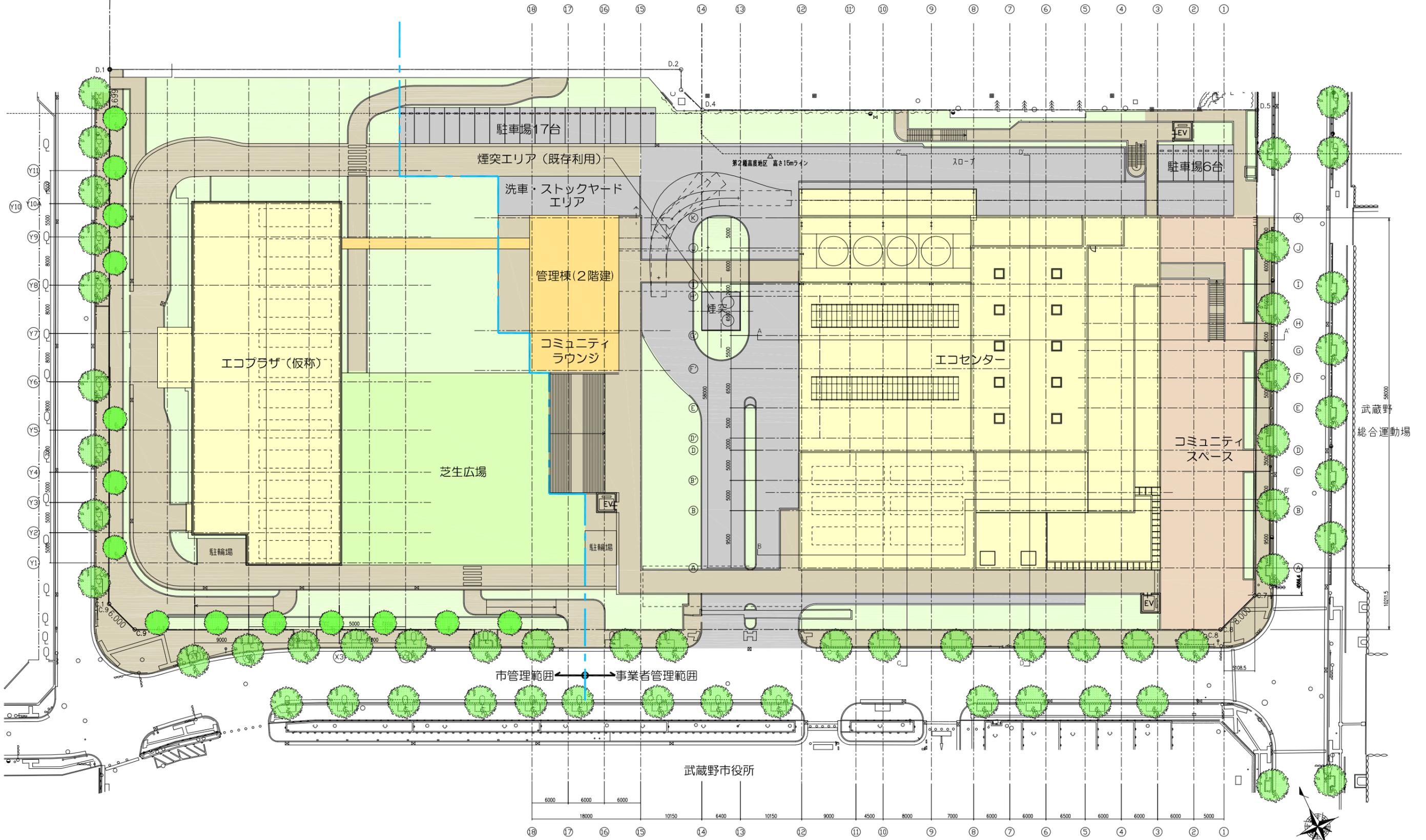


周辺とつながる広場やデッキ



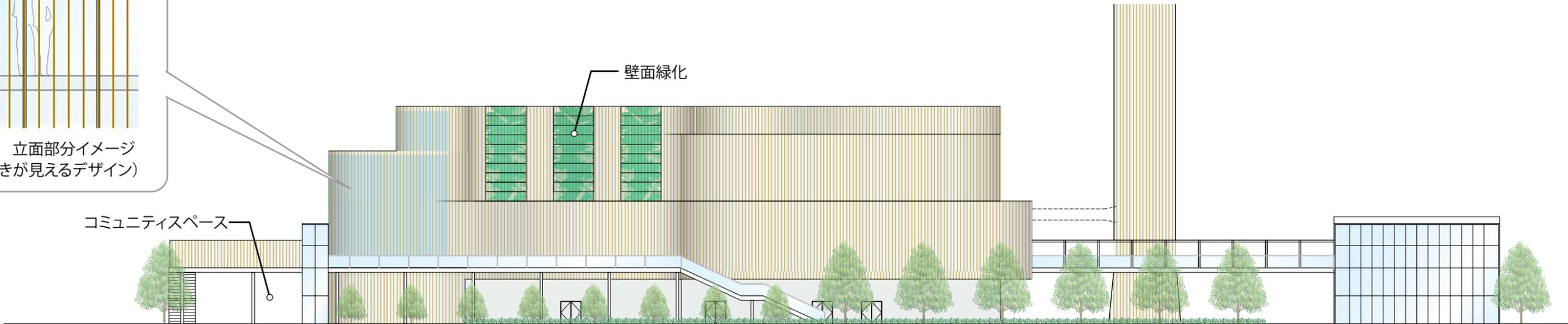
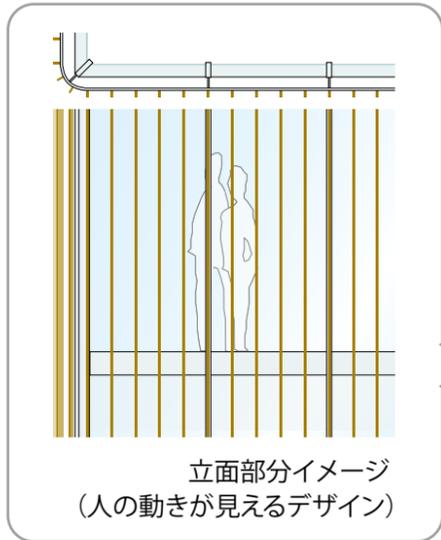
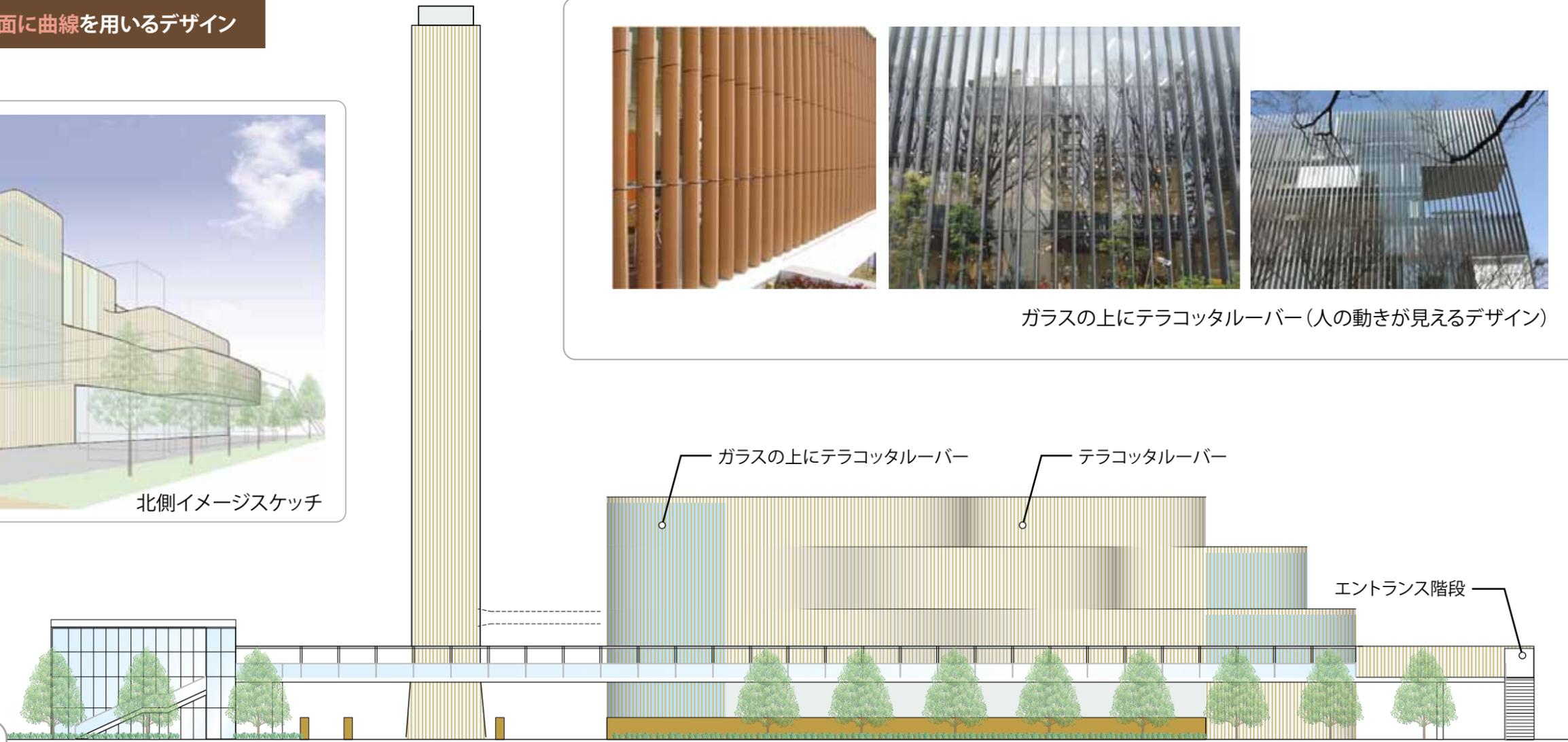
場所によって変わる見え方を楽しむ

配置図 (管理棟・エコプラザ竣工時)



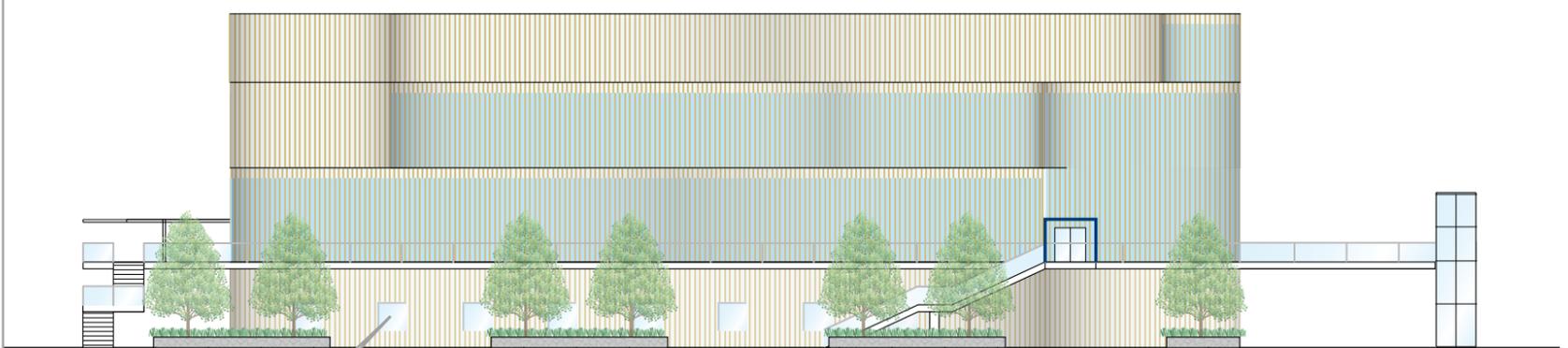
配置図 S=1:600(A3)

ルーバーを主体とし、全面に曲線を用いるデザイン

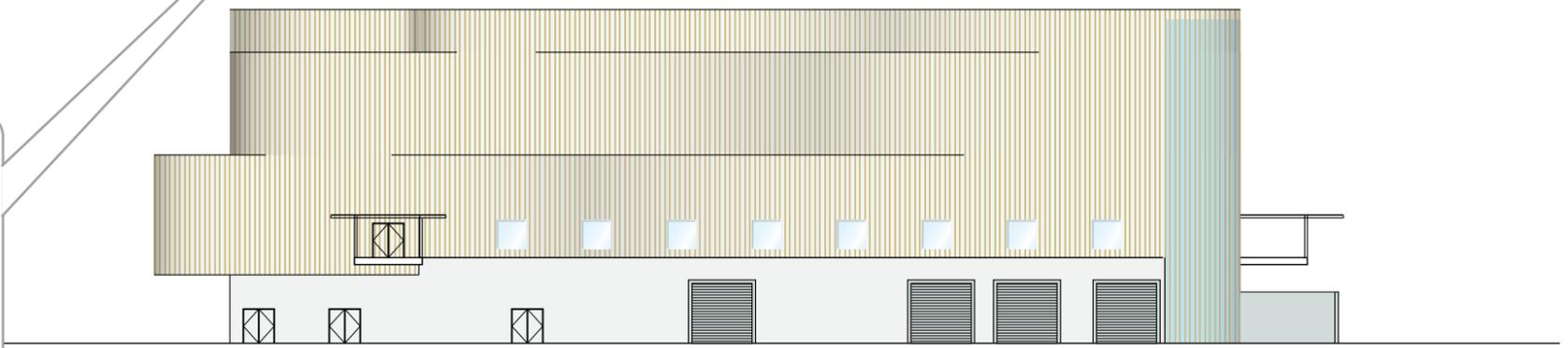


北側立面図

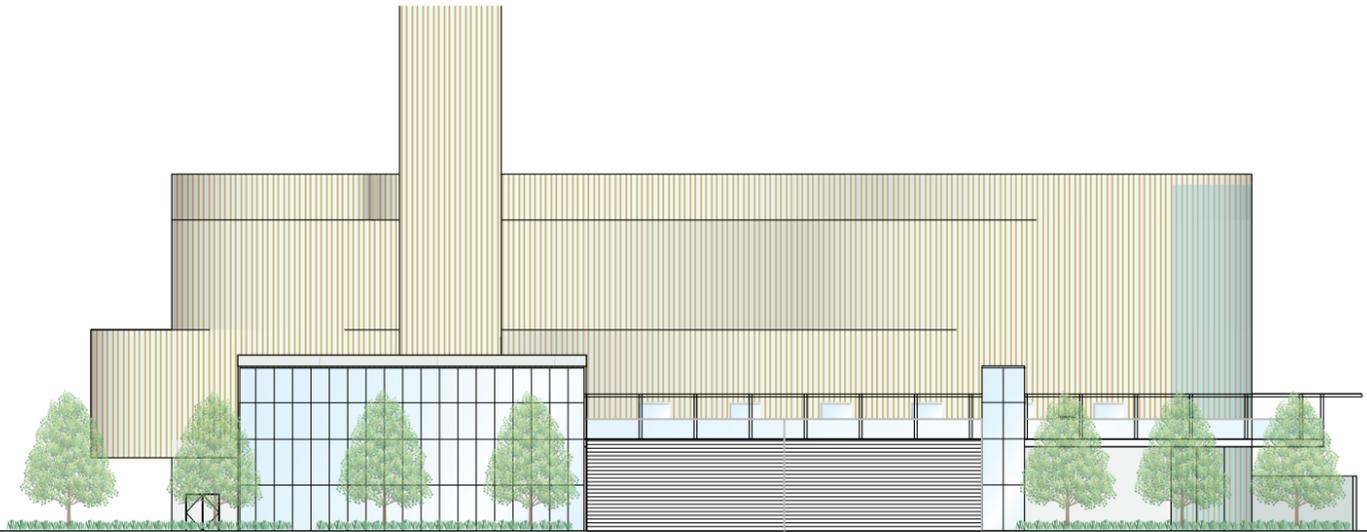
( ルーバーを主体とし、全面に**曲線**を用いる案 )



東側立面図

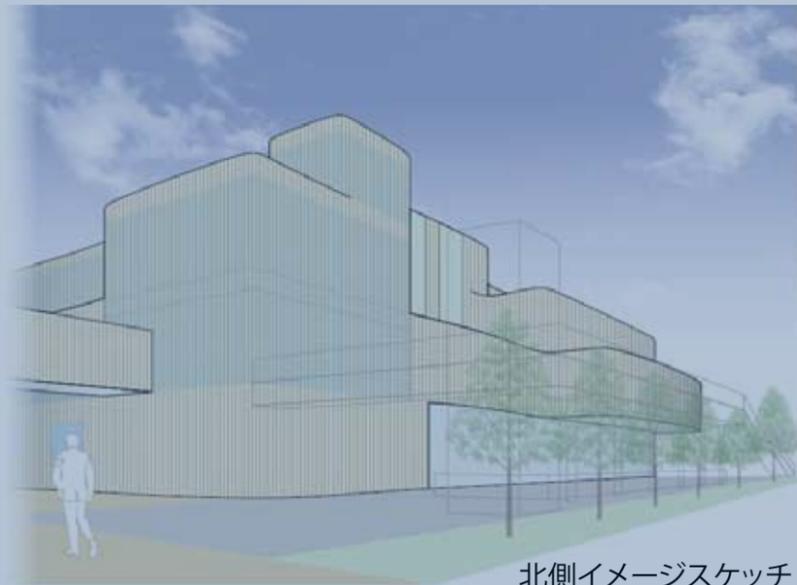


西側立面図

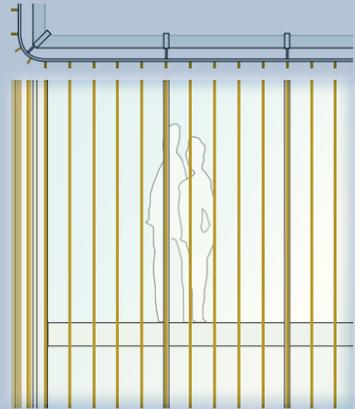
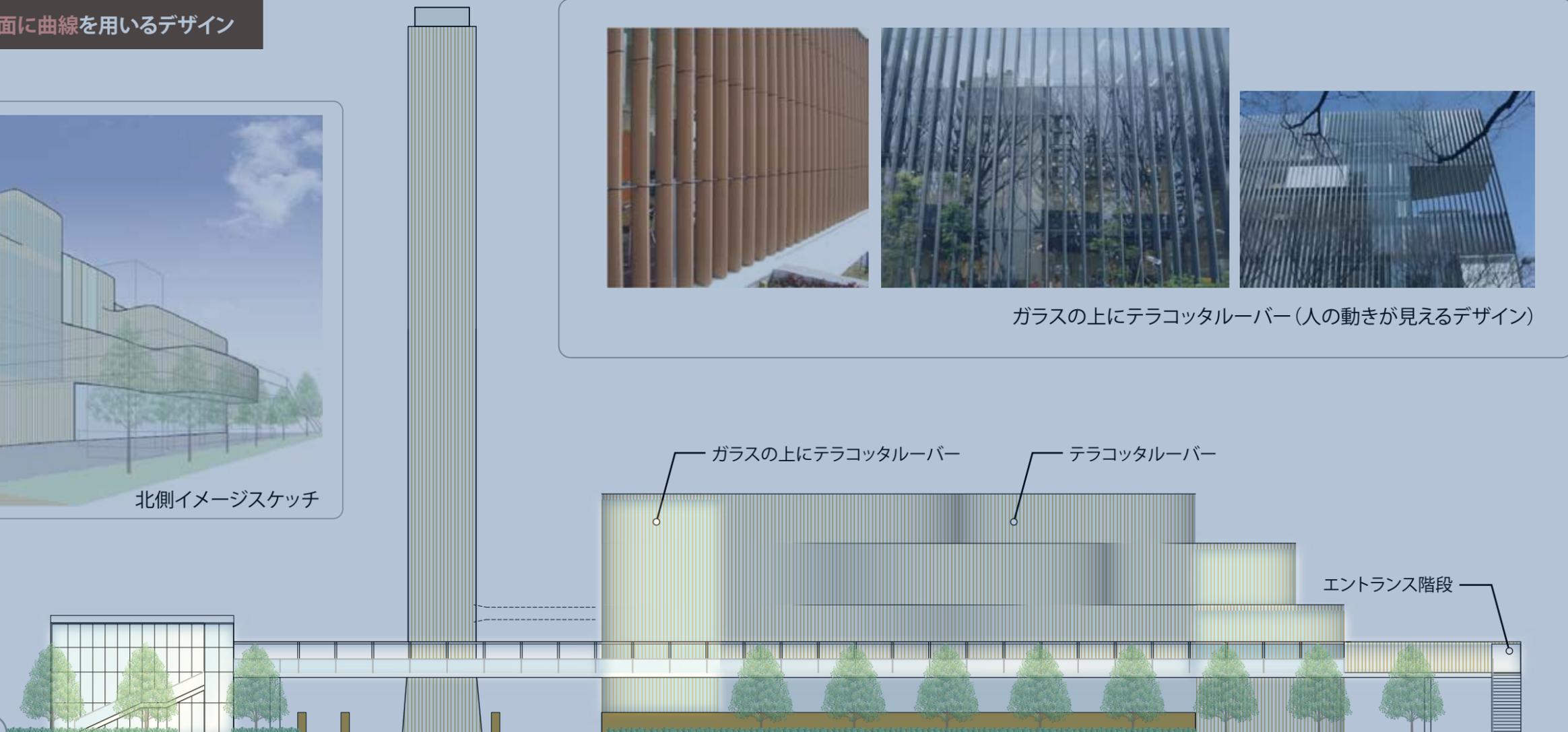


西側立面図  
(芝生広場から)

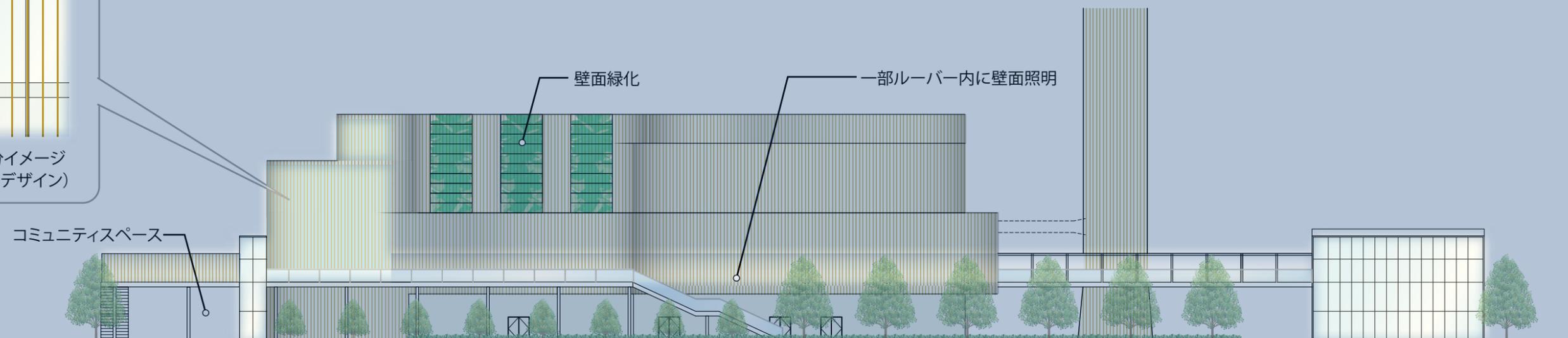
ルーバーを主体とし、全面に曲線を用いるデザイン



ガラスの上にテラコッタルーバー(人の動きが見えるデザイン)

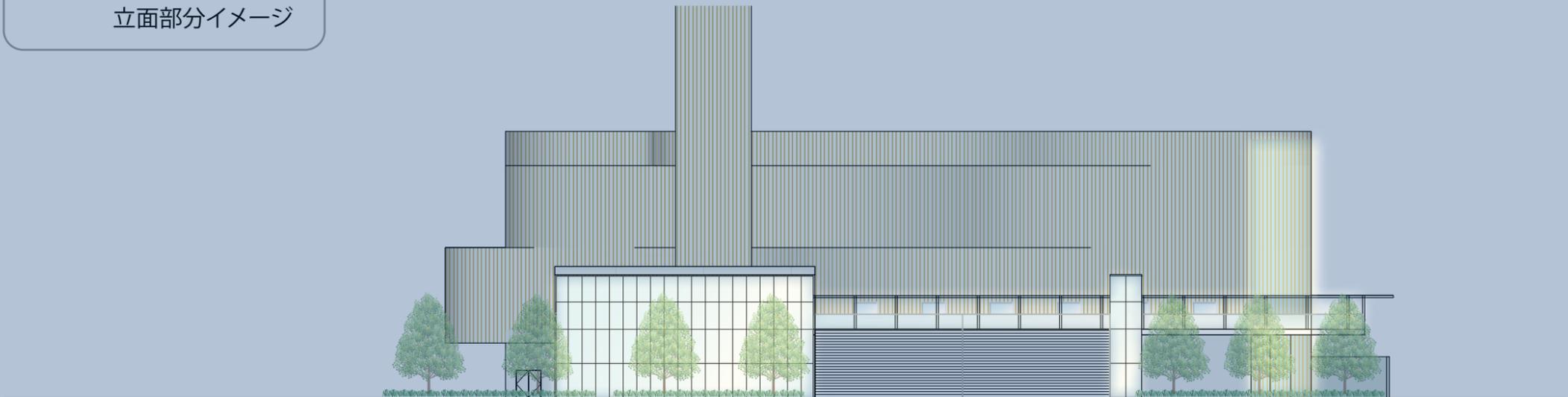
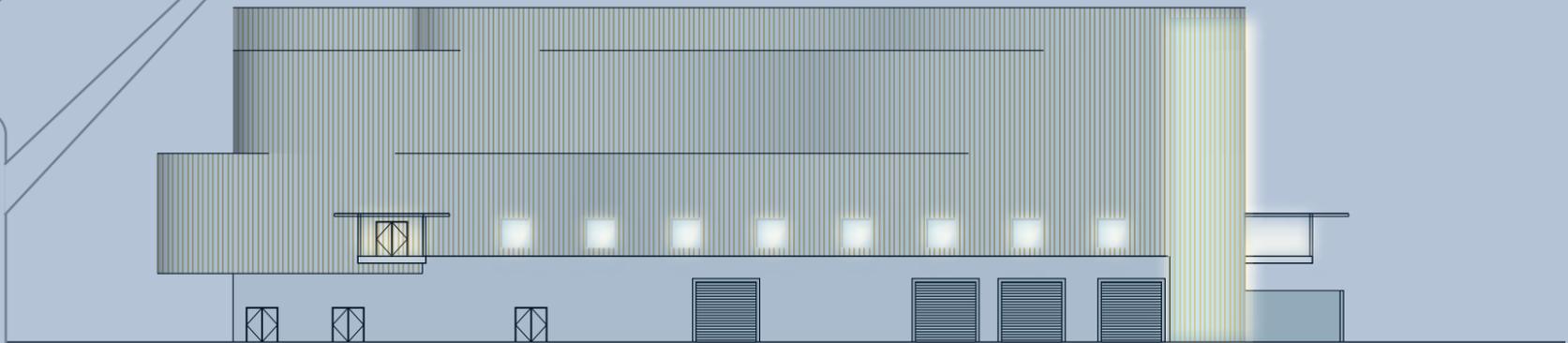
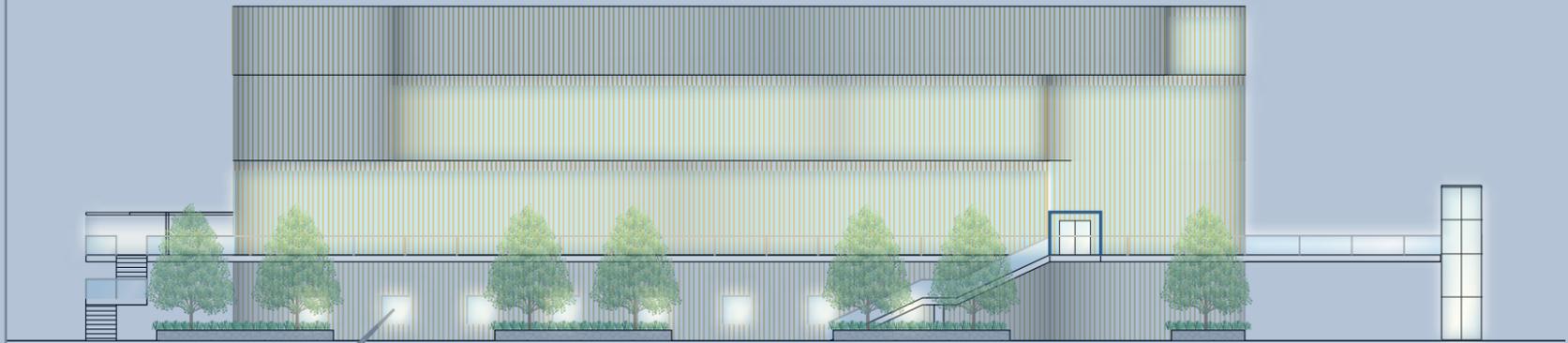
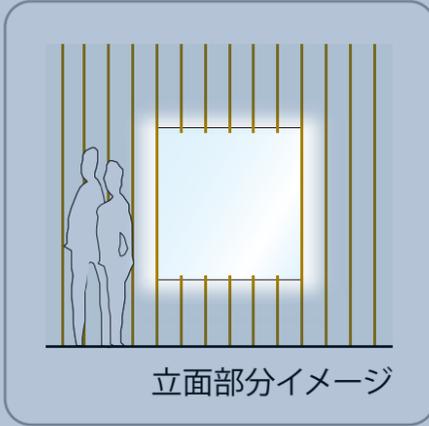
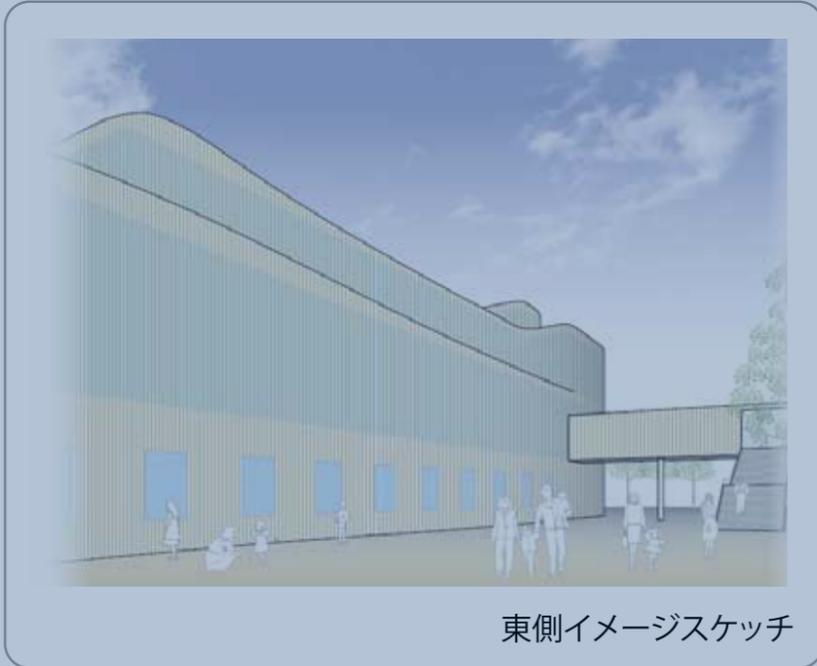


立面部分イメージ  
(人の動きが見えるデザイン)



北側立面図

( ルーバーを主体とし、全面に**曲線**を用いる案 )





縦ルーバー01 (ONE表参道)



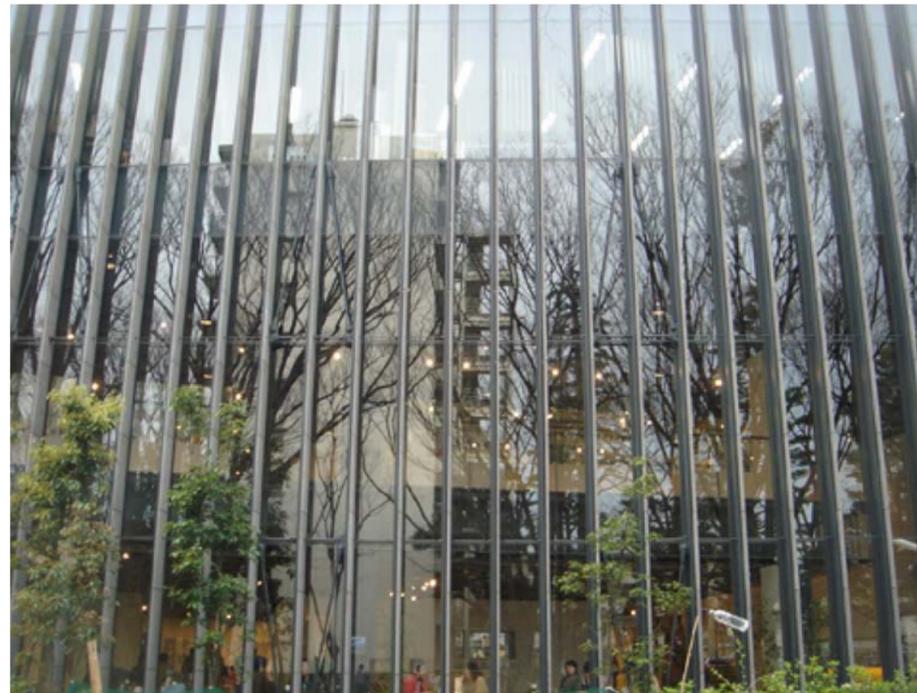
縦ルーバー02 (ONE表参道)



縦ルーバー03 (ONE表参道)



縦ルーバー04 (ONE表参道)



縦ルーバー05 (東京農業大学「食と農」の博物館)



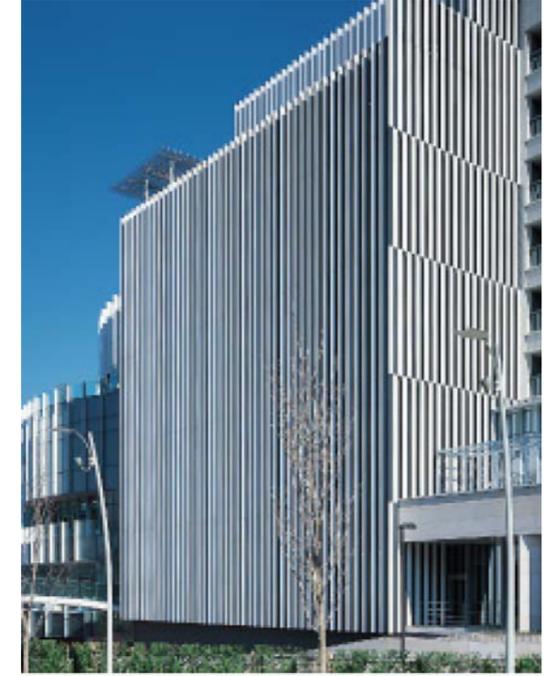
縦ルーバー06 (東京農業大学「食と農」の博物館)



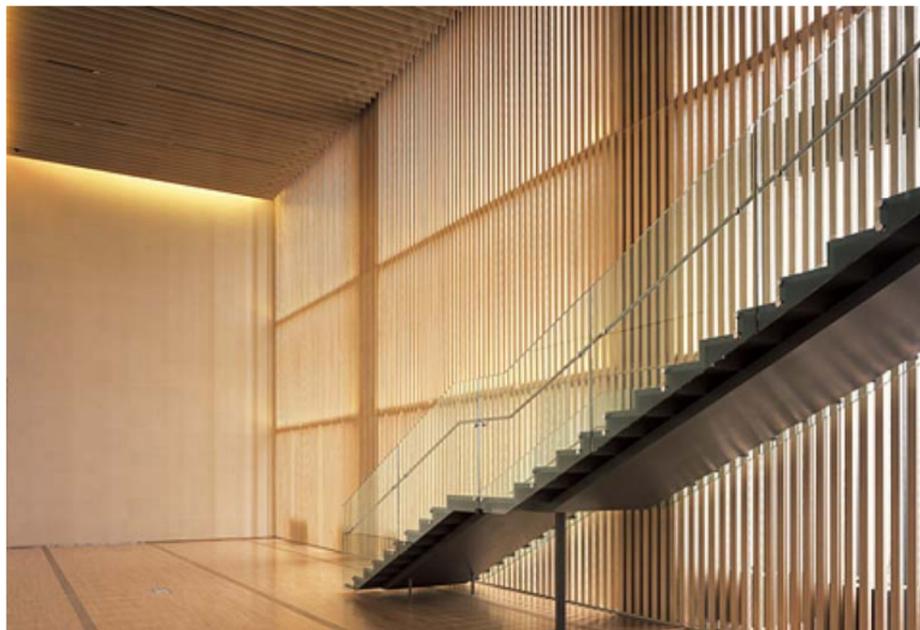
縦ルーバー07（東京農業大学「食と農」の博物館）



縦ルーバー08（サントリー美術館）



縦ルーバー09（サントリー美術館）



縦ルーバー10（サントリー美術館）



縦ルーバー11（梅窓院）



縦ルーバー12（長崎県美術館）



縦ルーバー13 (ONE表参道)



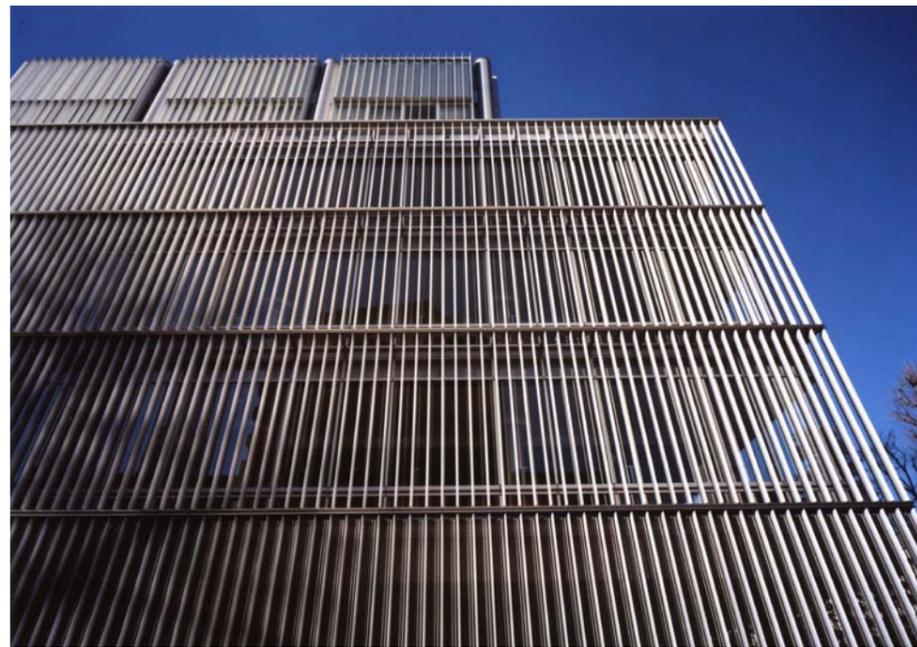
縦ルーバー14 (京都造形大学至誠館)



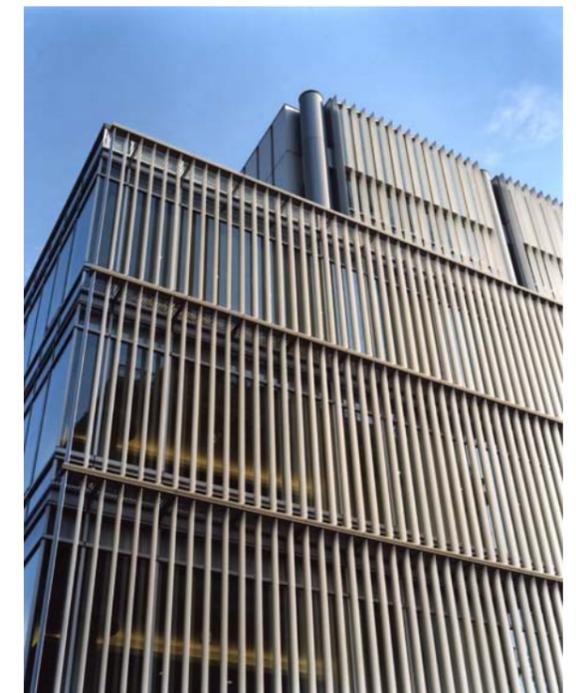
縦ルーバー15 (東京農業大学「食と農」の博物館)



縦ルーバー17 (大垣共立銀行岡崎支店)



縦ルーバー18 (大妻女子大学図書館)



縦ルーバー19 (大妻女子大学図書館)



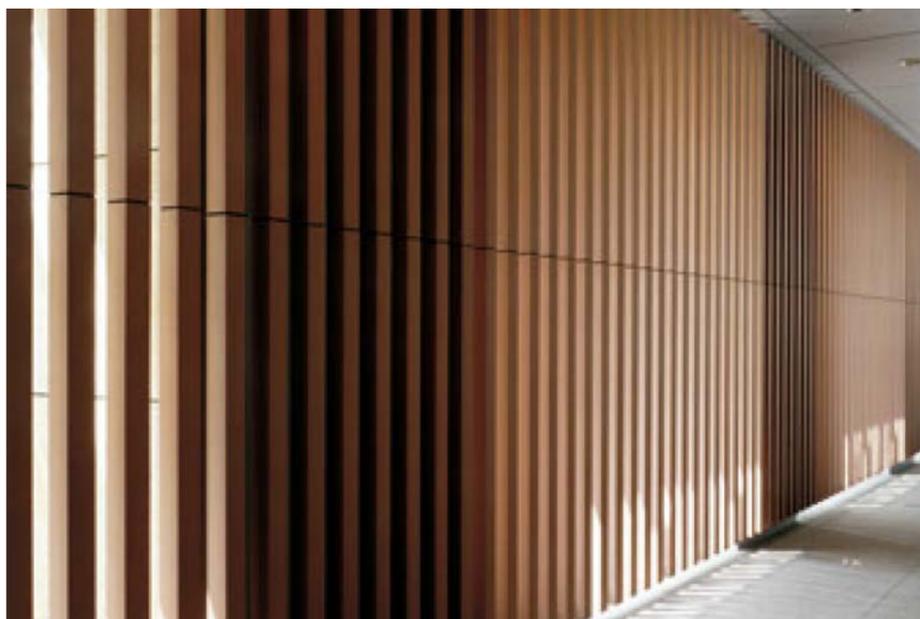
縦ルーバー20 (中央大学後楽園)



縦ルーバー21 (中央大学後楽園)



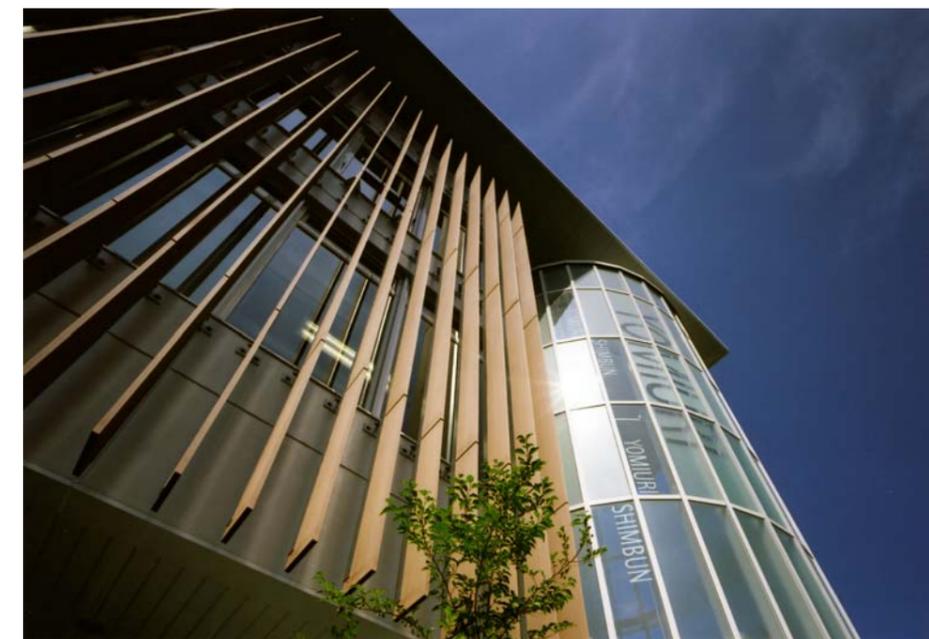
縦ルーバー22 (味の素グループ高輪研修センター)



縦ルーバー23 (味の素グループ高輪研修センター)



縦ルーバー24 (読売新聞和歌山支局)



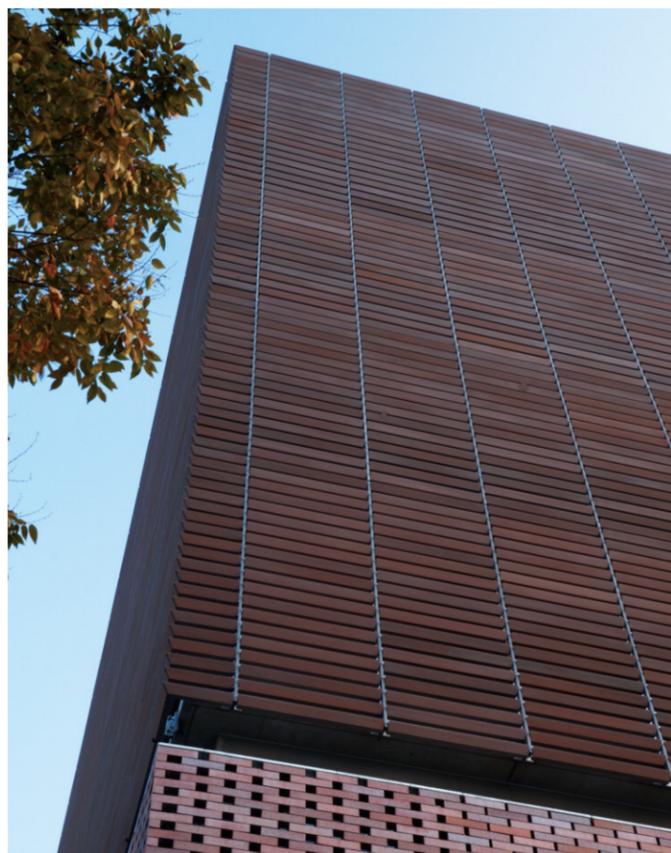
縦ルーバー25 (読売新聞和歌山支局)

# テラコッタルーバー

テラコッタの新たな利用形態として、外部ブラインドへの適用を可能としたものがテラコッタルーバーです。テラコッタルーバーは、建物の外部に設けるブラインドとして使える外壁材で、ルーバーの材質をセラミック製(テラコッタ)とし、取り付け金具を施したものです。このため本来の目的である遮光に有効であるばかりでなく、装飾にも優れた建築を実現します。

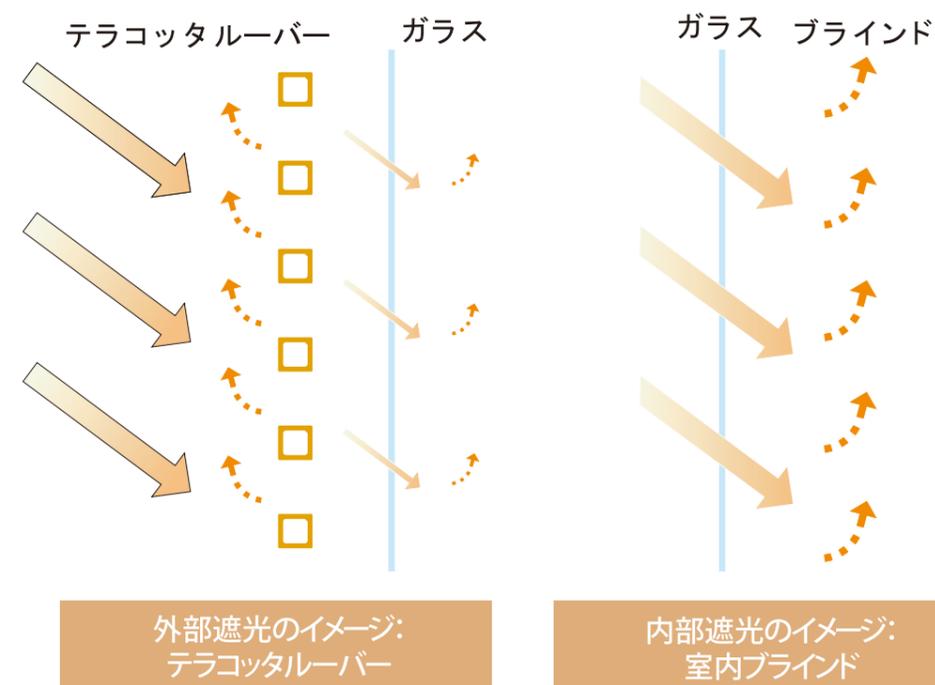
## 光のパフォーマンス

近年では、ライトアップ効果も外観イメージを決める重大な要素。テラコッタルーバーは多彩な形状バリエーションと、可変角度で光による様々な表情を持たせることが可能です。施設のコンセプトやイメージプランに合わせた光のパフォーマンスを演出することが出来ます。



## 地球に優しい外付けルーバー

室内ブラインド等にあたった太陽光は熱に変わって室温を上げるため、冷房の負担になりますが、ガラスの外側で遮る外部遮光は冷房負荷も軽減されます。また、眩しい西日も効果的に遮ることができるので、目にやさしい室内環境を保つことが出来ます。



## カラーバリエーション

